

**令和 6 年度 横浜医療専門学校
学校関係者評価委員会 議事録**

会議名	学校関係者評価委員会		
開催日時	令和7年3月23日(日)	10:00～12:00	開催場所 6 階会議室
参 加 者	吉田統括長、岸野校長		同窓会 小川先生
	小野教務部長、曾我部事務長		同窓会 高橋先生
	稲田鍼灸師科学科長、		全国柔整鍼灸協同組合 塚口先生
	平戸柔道整復師科学科長		
議 題	1	財務状況について	
	2	教育理念・目標・育成人材について	
	3	教育活動（鍼灸師科・柔道整復師科）	
	4	社会貢献・地域貢献	
	5	その他	

N	議 題	内 容
1	財務状況について	横浜医療専門学校の財務状況や収支について報告をおこなった。
2	教育理念・目標・ 育成人材等について	・医療人が作った学校として現場で活躍できる治療家を育てる事を目標している →未知の世界を学ぶことからオリエンテーション等で準備を行っている。 ※学習内容・勉強方法・技術 等の指導 ・医療人を育成していく為、まずは出席率等の社会人に向けての教育等について協議した →出席率が悪い学生などには保証人に連絡を行い小まめに指導をしていく必要がある。 ※無断欠席・同じ科目の連続欠席・連続した欠席 等 ・時代の変化について →考え方なども変わっていく為、過去の考え方だけでなく新しい風も取り入れていく必要がある。
3	教育活動等について (鍼灸師科・ 柔道整復師科)	・授業内容についていけない学生が一定数いる。 →改善方法として各授業等において、小テスト等を実施することにより、どこで理解ができなくなっているか学生・教員の双方がわかりやすくなるため指導がしやすくなる。 →コマ数が足りない為、説明を簡単にしないといけなくなることから、カリキュラムのコマ数を増やすことも検討にしている。 ・学生指導等について →補講や補習等をおこない学生を指導している。 ・自習スペースの確保をして勉強をしやすい環境づくりをしている。 →教員室につながっている為、質問しやすい環境を作っている。
4	社会貢献・地域貢献	横浜マラソン等のボランティア活動は行っているが学校として大きなボランティア活動は行っていない為、今後の検討課題である。
5	その他	現場で活躍している先生等を招き臨床現場の必要な知識や技術、現在勉強している科目等がどのように役に立つかを教えている。 また 3 年生の国家試験終了時には関係団体を招き開業するために必要なものなどを教えている。